

水素原子、あるいは炭素数 1 ～ 6 の直鎖状、分岐状若しくは環状のアルキル基であり、 X^- は、ハロゲンイオンまたはベンゼンスルホン酸イオン若しくはアルキルベンゼンスルホン酸イオンである。]

【請求項 2】

コア粒子のガラス転移点を $T_g 1$ 、シェル粒子のガラス転移点を $T_g 2$ とした場合、

$$25 \leq T_g 1 \leq 55$$

$$55 \leq T_g 2$$

$$T_g 2 - T_g 1 \leq 10$$

であることを特徴とする請求項 1 に記載の静電荷像現像用負帯電トナー。

【請求項 3】

シェル粒子がスルホン酸またはスルホン酸塩を含有することを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の静電荷像現像用負帯電トナー。

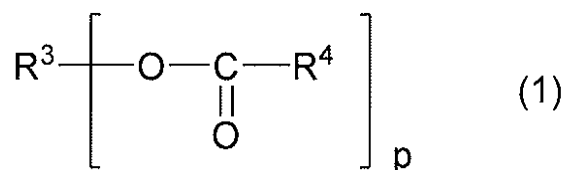
【請求項 4】

エステル系ワックスを含有することを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 一項 に記載の静電荷像現像用負帯電トナー。

【請求項 5】

前記エステル系ワックスが下記構造式 (1) で表されることを特徴とする請求項 4 に記載の静電荷像現像用負帯電トナー。

【化 2】



[式 (1) 中、 R^3 は 2 ～ 8 価のネオペンチルポリオール残基、 R^4 は炭素数 13 ～ 25 の直鎖アルキル基、 p は 2 ～ 8 の整数である。]